

平成30年度長岡京市防災会議 議事要旨

日時：平成31年3月26日（火）午後3時00分～午後4時30分

場所：市役所大会議室A

出席者

会長：中小路市長

委員：土家委員、佐々谷委員、山本委員、水口委員、貴志氏（時田委員代理）、紀伊氏（栗田委員代理）、喜多委員、仁科委員、井ノ上委員、池田委員、末永委員、滝川委員、山本委員、長谷川委員、中島委員、中尾委員、西川氏（山本委員代理）、牧山委員、松森氏（甲斐委員代理）、山崎氏（高田委員代理）、若木氏（松本委員代理）、石垣委員、梶原委員、西村委員、相模委員、石橋委員、湯川委員

会長あいさつ：

年度末の大変ご多忙のところ、本市の防災会議にご出席頂き、感謝を申し上げたいと思います。また、平素は安心安全な市政の推進をはじめ、各般に亘りご尽力・ご協力賜っていることに感謝を申し上げたいと思います。

昨年は、大阪府北部地震にはじまり、平成30年7月豪雨、猛暑を挟み、9月は相次ぐ台風と自然災害の多い1年になりました。

本市においても台風で大きな被害が生じるなど、災害の1年となりました。

様々な災害を経験ながら、行政の方もひとつひとつの反省点を振り返り、少しずつではありますが、各防災対策につきまして、力を入れさせて頂いているところです。

避難所等の運営におきましては、平成30年7月豪雨の際に避難勧告を出し、一次避難所である長岡第四中学校も満杯になるというような状況もありました。

その後、新たに西乙訓高校を一次避難所として強化していく体制も進めてきたところです。

防災対策を進めて行く中で何よりも、関係各機関との連携を密にすることと、地域住民の皆様方の理解を深めながら、一緒になって進めて行くという重要性を再認識しているところです。

長岡京市防災の日を10月の最終日曜日に定めまして、昨年10月には市内9つの小学校区で防災訓練をさせて頂き、全体で2,300名を超える市民の皆様に訓練に参加頂きました。これは、非常に心強いことだと思っておりますし、今年は全部の小学校区で防災訓練が実施できる見通しも立ってきています。

また京都府総合防災訓練が、長岡京市で開催することとなっています。これらの訓練を重ねながら、住民の皆様と力を合わせ、安心安全な長岡京市の構築を更に進めてまいりたいと思いますので、是非とも本日は闊達なご意見を頂きながら、有意義な会議にしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

事務局より案件1「長岡京市地域防災計画の改定（案）について」の説明後に審議

案件①災害廃棄物処理計画策定に向けての修正
案件②被災宅地危険度判定に関する事項の追加
案件③り災証明書取扱いの変更
案件④広域停電対策の修正

会長 地域防災計画の見直し等についてご意見やご質問はありますか。

委員 確認させていただきます。り災届出証明から被災届出受理証明書へ変わるということですが、り災届出証明はり災届出をされた行為を証明するものになるが、被災届出受理証明書では、届出の内容について一度市で確認して問題がないものとして受け取るという証明の中身になると思いますが、り災証明書と同様に、市で確認されるということが良いのか。

事務局 写真判定等により、中身を確認して被災届出受理証明書を発行するものです。

委員 り災証明の写真判定について、市民にも分かりやすいようにハザードマップ等で広報されているのか。

事務局 今年度においても写真判定方式を行う際は、ホームページ・広報紙で十分に周知を図りました。ハザードマップへの掲載はありませんが、今後行う際はホームページ等を利用し、市民への周知・啓発を行っていく予定です。

会長 今回、この内容で確認頂ければ、次年度以降は広報の中でもしっかりお伝えしたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。

いくつかお伝えしたいことがあります。1点目は、災害廃棄物処理計画を作成する中で、2市1町のゴミ処理を致します乙訓環境衛生組合と検討を重ねています。その中で、震災時の災害廃棄物の全てを乙訓環境衛生組合で仮置きすることが非常に難しいということが判明しました。

災害廃棄物の仮置場については、来年度にも検討していき、お伝えしたいと思っております。

2点目について、台風21号のときに非常多くのゴミが発生し、環境業務課を中心に休日問わず、収集にあたりました。

その中で気付いたこととして、災害廃棄物の排出ルールを市としても具体的に決めておらず、市民が混乱されていました。

自治会のルールで分別、排出頂いたところは、スムーズにゴミ回収が行えました。

これより来年度に災害時のゴミの出し方についてルールを決めていき、自治会や自主防災会を通じて、ごみの出す側のルール設定を取り組んでいきたいと考えております。

3点目は、広域停電対策について、台風21号の際、市内でも広範囲で停電が発生し、長岡京市災害対策本部でもどこで停電が起こっているか把握が困難であったということがありました。停電に限らず、このような災害では、市の対策本部と各自治会、自主防災会との連絡体制が明確に構築されていませんでした。

今回の地域防災計画の改定を踏まえて、被害状況の情報収集をしていくために、市と自治会等の誰が連絡を取り合うのかを明確にしていき、連絡体制を構築していきたいという課題意識を持っているので、自治会長会はじめご理解・ご協力頂きますようよろしくお願い致します。

最後になりますが、災害時の情報伝達手段として昨年12月に地域コミュニティFMであるFMおとくにご開局致しました。

開局に合わせて防災協定の締結も行い、今後は災害時にFMおとくにごを通じて地域の現状を発信していきたいと思っております。テレビ、NHK等より、地域に密着したきめ細かな情報を伝える体制が構築できたので、FMおとくにごのツールを有効に活用していきたいと思うので、防災会議の委員の皆様もご周知頂きますようよろしくお願い致します。

委員 FMおとくには非常電源を持っているのか。

会長 スタジオがバンビオにあり、バンビオは非常用電源を用意している。また、イオンモール桂川内にもスタジオがあり、今後、市役所からもラジオに音声を生かせるシステムが使えるよう割込み機器の導入も検討している。発信源が分散化することで、リスクも分散化していると考えます。今後も災害時への対応について、検討していきたいと思っております。

事務局より案件2「福祉避難所運営マニュアルについて」の説明後に審議

会長 福祉避難所運営マニュアルについてご意見やご質問はありますか。

昨年より避難所を開設した際に、高齢者・障がい者の方も来られるので、避難所運営に保健師を組み込むという体制を作りました。

市が要請した際、福祉避難所もそれぞれの事業をしながら、開設をして頂くので、その状況にならないと受け入れ人数が明確にわからず、予め人数を指定することもできない。今回のマニュアルに基づき、一定運営の目安にして頂ければと思っております。

今は、まず一次避難所に避難して頂き、重度の要配慮者から必要性によって福祉避難所へ行っていただくという流れである。

このマニュアルを基に、重度の具合をどう判断していくかを決めて行かないといけないうと認識しております。限られた数の福祉避難所になるので、マニュアルについては引き続き検討してまいりたいと思っておりますので、ご理解・ご協力よろしくお願い致します。

委員 ハザードマップで見ると明らかに浸水想定地域に属している所もあるので、実際に使えないことが想定される。どのような基準で福祉避難所を指定されたのか教えてください。

事務局 指定については、市内の要配慮者施設と福祉避難所に関する協定を締結し、指定させて頂いております。今後についても、協定先を増やしていきたいと考えています。

また、浸水想定区域に施設はあるということですが、震災であれば施設が使えるという場合もあります。水害に限らず、災害に広くとらえて福祉避難所を選定させて頂いております。降雨時などで浸水が発生している又は、発生危険性が極めて高い箇所の施設については、福祉避難所に開設要請をしないような運用を行っております。

委員 真備町でハザードマップの浸水想定区域と実際の浸水区域が合致した例もあったので、福祉避難所を平面的に考えずに、何階建てなのかも踏まえて指定されているのか確認したかった。

会長 指定しているところが、民間の施設になるので、民間のご理解を得て、協定を締結した箇所が 21 箇所となっています。震災時と水害時で、長岡京市での運用も考えて行かないといけないと思っていますし、災害時の状況を考慮して、指定する施設を運用の中で整理をしていくと思っております。

福祉避難所の運営マニュアルができて、実動の体制ができたと考えて頂ければと思います。

事務局より案件 3「平成 30 年度事業報告について」の説明後に審議

会長 平成 30 年度事業報告についてご意見やご質問はありますか。
なければ、案件 4 お願い致します。

事務局より案件 4「平成 31 年度事業計画（案）について」の説明後に審議

会長 来年度の取り組みとして、京都府総合防災訓練が長岡京市にて 9 月 1 日で開催されます。平成 31 年度事業計画（案）についてご意見やご質問はありますか。
なければ、案件 5 お願い致します。

事務局より案件 5「その他」について説明後に審議

会長 今年度に浸水想定区域の見直しに伴い、ハザードマップを改定して全戸配布を 3

月中旬に行っておりますので、ご報告申し上げます。
この件について、ご意見やご質問はありますか。

委員　ハザードマップ、これは何が起きるか示している。災害時にどのような行動をしたらいいのかを教える防災教育はどこで検討するのか。

仕事の一環で、小学校3年・4年生を対象にした防災教育を実施しており、長岡京市でも防災教育に協力できればと思っている。

会長　防災教育の検討については、防災会議での範囲に入るので、今後ご協力頂ければと思います。

委員　市の避難所が体育館で開設されるので、居心地が悪いということも聞く。事前に準備期間があれば、自治会としても協力が出来る部分があるので、今後の連携体制を調整していきたい。

会長　ありがとうございました。以上を持ちまして、本日の案件は終了です。貴重なお時間、ご協力頂きありがとうございました。皆様方の更なるご協力・ご理解を賜りますようお願いいたしまして、本日の会議を終了させていただきます。